

文化フォーラム2011

どなたでも参加できます
事前申込不要・参加無料

～大震災から学ぶこと～

期間 平成23年11月16日、11月30日、12月14日（全3回）

時間 第1部 講演 19:00～20:20（40分×講師2名）

第2部 討論 20:20～21:00

場所 志摩市阿児アリーナ ベイホール

三重大学と志摩市は2005年より文化フォーラムを開催しています。今年はメインテーマを「大震災から学ぶこと」とし、現在問題となっている「防災」や「放射線」について、また、震災後の避難生活による生活環境のストレスから来る疾病「うつ」に関して、三重大学の専門家が様々な角度からお話しいたします。また、昨年同様、各回とも志摩市で活動する方が司会となり、市民の皆さまからの意見や質問をリードします。全3回、3つのテーマを通して、私たちが今知っておくべきことや今やっておくべきことを考えるきっかけにしていだければと思います。

ぜひ、ご参加ください。

① 『地震と津波 ～東南海地震に向けて取り組むべきこと～』

11月16日（水） 19:00～21:00

司会 古田 典正（志摩市総務部地域防災室防災係長）

講師 川口 淳（工学研究科准教授・自然災害対策室副室長）

講師 福山 薫（生物資源学研究科特任教授）



② 『ストレスとうつ ～生活環境の変化が与える影響とは～』

11月30日（水） 19:00～21:00

司会 小川 奈都子（志摩市健康福祉部健康推進課総合保健センター保健師）

講師 松浦 均（教育学部教授）

講師 小森 照久（医学系研究科教授）



③ 『危険な放射線と使える放射線 ～身近にある放射線を知ろう～』

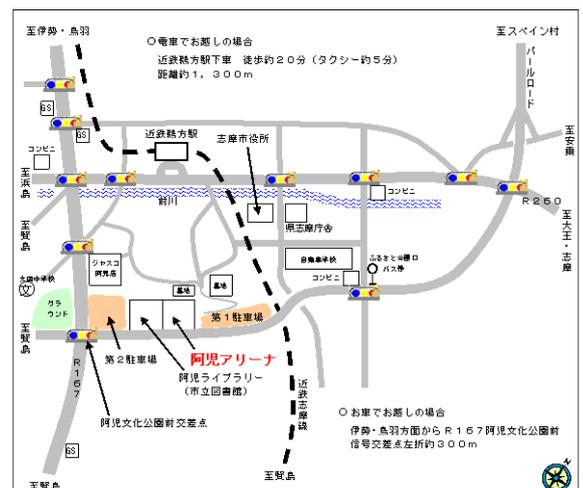
12月14日（水） 19:00～21:00

司会 太田 敏彦（志摩市立東海中学校教頭）

講師 荻田 修一（地域イノベーション学研究科教授）

講師 佐久間 肇（医学部附属病院放射線診断科長・准教授）

定員：約300名
主催：三重大学・志摩市
協賛：中部電力（株）
後援：志摩市商工会、（株）三重ティーエルオー
問合せ先：三重大学社会連携研究センター
TEL 059-231-5493
志摩市企画部企画政策課
TEL 0599-44-0205



三重大学・志摩市 文化フォーラム2011

第1回 11/16(水)：地震と津波 ～東南海地震に向けて取り組むべきこと～

川口 淳(工学研究科准教授・自然災害対策室副室長)

「地震・津波リスクとその対策」

東北地方太平洋沖地震により発生した東日本大震災の被害と防災上の教訓を概説します。また、志摩市における地震・津波リスクとその対策について考えます。

福山 薫(生物資源学研究科特任教授)

「安心・安全なまちづくりを目指して」

大災害時に人の命を救うのは「自助」と「共助」です。自助や共助をうまく機能させるには、今、私たちは何をすべきでしょうか。東日本大震災の教訓や各地での安全・安心なまちづくりの活動からそのヒントを探ります。

第2回 11/30(水)：ストレスとうつ ～生活環境の変化が与える影響とは～

松浦 均(教育学部教授)

「援助を求める力(被援助志向性)を育てる」

他者を助けることは良いことですが、助けてもらうことも実は良いことです。自立を促すことも大事なことです。困ったときに他者に素直に援助を求める力(被援助志向性)を育てる方法を考えてみたいと思います。

小森 照久(医学系研究科教授)

「ストレス、うつ病の理解と対処一次の災害に備えて」

災害などのストレスによって心身の変調が起こります。その代表がうつ病で、ガス欠の状態です。支援者は聞くことが基本です。ストレスの意味や生じる変調、対応を知ることは、次の災害できっと助けになるでしょう。

第3回 12/14(水)：危険な放射線と使える放射線 ～身近にある放射線を知ろう～

苅田 修一(地域イノベーション学研究科教授)

「ベクレルとシーベルトって、どう違う？」

今回のお話しは、放射性物質とは何か、ベクレルとシーベルトの単位の違いは何か、どのように放射性物質は我々の食物に入ってくるのかを解説いたします。放射性物質に対する理解を深め、正しい知識をもつことで、不安を少しでも解消できればと思います。

佐久間 肇(医学部附属病院放射線診断科長・准教授)

「医療の中での放射線」

医療の中での放射線検査についてわかりやすく解説します。画像診断検査をうけられる患者さんにとって、病気を正確に診断できる利点は、放射線被ばくのリスクよりもずっと大きいことをご理解いただければと思います。